

ラボ・センター紹介

ユビキタス通信ラボ

(Ubiquitous Communication Laboratory)

担当教員: 春山真一郎教授

<http://haruyama.sdm.keio.ac.jp/ubiquitous/>

目的

ユビキタス通信ラボでは、いつでもどこでも(ユビキタスに)人と人がコミュニケーションを行うことによって、互いに分かり合える社会の実現、誰もが安心・安全に暮らせる社会の実現、新サービスが次々と生まれる社会の実現の検討を行っています。具体的には週1回ゼミを行い意見交換するとともに企業や組織とその実現にむけての議論を進めています。

検討対象は、様々な障害者を支援する方法の検討、安全な自動車運転を支援するための研究、照明光を用いた位置検出およびその標準化など、多岐にわたっています。



ユビキタスコミュニケーションラボメンバー

活動の事例

- 視覚障害者が屋内外を安心して移動できるシステムの研究開発
- 聴覚障害高齢者の情報伝達システムの研究開発
- 発達障害者の自発的キャリア形成支援手法の検討
- 照明光を用いた通信による屋内ナビゲーションの研究開発およびその組織づくり
- 可視光通信のJEITA (電子情報技術産業協会) での日本標準提案、およびIEC (国際電気標準会議) での世界標準提案
- 自動車のための、可視光通信、無線通信、画像処理技術を用いた安全運転支援の研究開発
- ゴルフスイング改良ツールの開発
- WEBを活用したアパレル市場のマーケット拡大手法の検討
- 電子透かし技術を用いた新しいコンテンツ利用の開発
- ETロボコン2013アーキテクト部門に提案するロボットシステムの開発



ETロボコン2013ロボットシステムの開発風景



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館
Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

SDM
System Design and Management